

1 自己評価及び外部評価票

【 事業所概要(事業所記入) 】

事業所番号	2071100339		
法人名	株式会社 ツクイ		
事業所名	ツクイ信州中野グループホーム		
所在地	長野県中野市大字吉田字中河原1137-1		
自己評価作成日	平成24年12月25日	評価結果市町村受理日	平成25年4月12日

【 事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入) 】

庭にある小さな畑と年に1回～2回のバスツアーを企画している。年に数回外出し食事とをしている。畑で育った野菜を使い、秋には家族会と収穫祭を行っている。天気の良い日の急な外出のスタッフのチームワークで行える事もできる。日々の生活の中で、暖かさと感じるホームです。

事業所の基本情報は、公表センターで閲覧してください(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/
----------	---

【 評価機関概要(評価機関記入) 】

評価機関名	特定非営利活動法人環境・福祉事業評価センター
所在地	長野県長野市南高田2-5-16
訪問調査日	平成25年2月2日

【 外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入) 】

職員との話し合いから事業所独自の理念を定め、理念どおり地域の一員となって利用者が当たり前の暮らしを続けられるように、事業所がその基盤を作るよう地域との関係作りにも努めている。ご近所のお宅とはお茶飲みをするなど地域とのつながりを深めている。事業所内では、利用者と職員・家族と職員・職員と職員の関係がチームとなっている。家族的な雰囲気でもあるそのチームは、本人がよりよく暮らすための課題やケアのあり方について検討し、話し合った結果をもとにした支援を実践して、ゆったりとした時間の流れを感じる事業所である。毎年春に企画実施している善光寺参拝は利用者も家族も楽しみにしているイベントの一つである。利用者の状態に応じて無理のないよう家族と連携して全員が参加できるように支援している。約100人分の飲料水が備蓄されていて緊急時への備えを意識している。職員からの意見や提案が出て、それを活かす仕組みがあり機能している。今後は、エリア統轄者とも連携するなど大きな飛躍を期待します。

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します。ユニットが複数ある場合は、ユニットごとに作成してください。

ユニット名(高社山ユニット)		項目	
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)		